

PRESS RELEASE



コマニーはSBTイニシアチブに基づく 二酸化炭素削減目標を設定することを宣言 ～SDGs推進で持続可能な脱炭素社会の実現に貢献～

パーティションで快適空間・機能空間を創造するコマニー株式会社（本社：石川県小松市、代表取締役社長執行役員：塚本健太）は、国際的な環境団体であるSBTイニシアチブが定める、科学的に整合性のある二酸化炭素削減目標を設定することを1月17日に宣言しました。

SBT (Science Based Targets) は、CDP*1、国連グローバルコンパクト、世界資源研究所、世界自然保護基金の共同イニシアチブで、企業が産業革命前の温度と比較して地球の気温上昇を2°C未満に保つために必要な脱炭素のレベルに従って、排出削減目標を設定することを支援しています。

コマニーはSBTが定めるScope1~3*2の二酸化炭素排出量を算出し、二酸化炭素削減のためのロードマップを策定しました。そしてコミットメントレターを提出し、削減目標を設定することを宣言しました。今後はSBTイニシアチブ基準に沿った目標を設定し、SBT認定を申請した後審査が行われ、認定基準を満たすことで認定となります。目標設定を目指す企業はコマニーを含めて日本国内で24社（2020年1月21日時点）あり、今後は目標設定済み企業(SBT認定)を目指し、認定条件を満たすべく取り組みを進めていきます。

コマニーの二酸化炭素排出量削減の取り組み

コマニーはSDGsを積極的に推進し、社会貢献活動や働きやすい環境づくりなどに取り組んでいます。その取り組みの中で、後世に美しい地球環境を残すための環境活動も展開しています。

二酸化炭素排出量削減の取り組みとして、2030年までに使用電力を50%再エネに転換することを目標とし、2014年から太陽光発電システムを稼働・拡大しています。その他にも、日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)への加盟や再エネ100宣言 RE Actionへの参加などを行い、環境に関する知見の向上や先進企業とのネットワークを作り、持続可能な脱炭素社会の実現を目指しています。

*1 CDP：気候変動など環境分野に取り組む国際NGO。

2000年に設立された「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト」が前身。

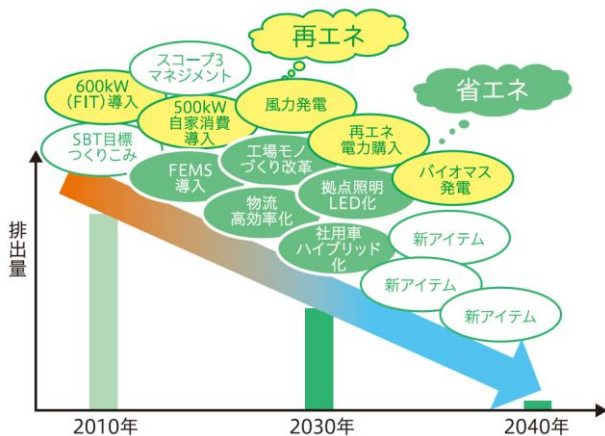
*2 Scope1：企業自身が直接排出した温室効果ガス排出量（化石燃料、天然ガスなど）

Scope2：間接的に排出した温室効果ガス排出量（電気など）

Scope3：間接的に排出するサプライチェーンでの温室効果ガス排出量（製造、輸送、通勤など）



▲コマニー本社工場上の太陽光発電システム



▲CO₂削減イメージ図

【本件のお問合せ】

コマニー株式会社 サステナビリティ経営推進室

TEL：0761-21-1201 FAX：0761-24-1901

担当：北村 E-mail：n-kitamura@po.comany.co.jp



<https://www.comany.co.jp>



facebook.com/comany.co.jp